

群馬県理科研究発表会 最優秀賞受賞！

令和3年11月7日 群馬県教育センターにて

11月7日、群馬県教育センターにて、第69回群馬県理科研究発表会が開催され、前橋女子高校科学部から、11テーマが発表を行いました。そのうち、物理部門にて、有馬瑠那さん、遠藤七海さんの「びゅんびゅんごまの形状によるrpmの変化」が、最優秀賞を受賞し、来年度の全国高等学校総合文化祭への出場権を獲得しました。また、化学部門では、伏木和香さん、本多佑衣さん、大門すみれさん、張本博加さんの「ニンニクの匂いはリンゴで消えるのか」が、審査員奨励賞を受賞しました。

今年度は新型コロナウイルスによる分散登校や部活動の停止などがあり、研究活動も大きな制約を受けました。しかしながら、生徒達は自宅で実験を行うなどして限られた期間で研究活動に励み、発表会当日はその研究成果を堂々と発表していました。

発表テーマ一覧

ニンニクの匂いはリンゴで消えるのか（審査員奨励賞 受賞）
割れにくいシャボン玉のレシピ
銅の消臭効果について
雑巾がけによる雑菌の増減
びゅんびゅんごまの形状によるrpmの変化（最優秀賞 受賞）
角柱の強度について
金魚すくいを制すには～ポイの最善手～
鳥のフンが人に当たる確率
ペットボトルロケットをより遠くに飛ばすには
落としてもシャーペンの芯を折らないために
土壌の色の違いによる植物の根の伸び方の違い



発表会に向けてニンニクの研究を行う
伏木さん、本多さん、大門さん、張本さん



最優秀賞を受賞した遠藤さんと有馬さん